



医療法人社団 重仁

まるがめ医療センター

MARUGAME Medical Center

謹賀新年

旧年中のご厚情を深謝すると共に、本年も変わらぬご指導をお願い申し上げます。

令和8年 元旦

医療法人社団 重仁 まるがめ医療センター

職員一同



病院長あいさつ



病院長
草野 展周

新年にあたって、病院長としてご挨拶申し上げます。

まるがめ医療センターは、急性期から回復期、障害者医療を通じて地域密着型の医療を実践することを目標として、活動しております。

2025年は新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響は減少傾向でしたが、感染対策に対する意識の急激な低下とワクチン接種の混乱もあり、インフルエンザなどの既存の種々の感染症が大規模に流行した1年でした。

COVID-19がわが国の医療体制に与えた影響は大きく、医療環境にも大きな混乱と変動をもたらし、既存の体制を維持することが困難となってきています。

当院でも新たな体制を構築することが必要になっており、本年は病院体制の整備を加速して、新病院建設に向けて病院の整備・改善を加速していきます。まずは1月から循環器内科専門医の常勤医を増やし、外来および病棟の診療体制を強化していきます。次に病院部門の見直しや再編を実施していきますので、今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



クリスマスイベント

入院患者さんにキャンドルサービスやクリスマス音楽会をお届けしました。少しでも安らぎを感じてもらえたらと思い企画しました。患者さんの笑顔を見て、私たちも癒しのひと時となりました。

医師紹介

総合内科

赤穂 宗一郎

2025年4月より、まるがめ医療センターに勤務しております、赤穂 宗一郎（あこう そういちろう）と申します。兵庫県出身です。

2001年に岡山大学医学部に入学し、2007年に卒業後、医師となりました。初期研修は岡山県北部の津山中央病院で2年間行い、その後の3年目から5年目までは大阪赤十字病院にて消化器内科医として勤務いたしました。

2014年から岡山大学消化器・肝臓内科学で医学研究に従事し、2018年から2020年の間はアメリカ・カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）に留学し、肺癌研究を行ってまいりました。2020年に帰国後は岡山大学総合内科学に在籍し、現在に至っております。

まるがめ医療センターでは、午前に胃カメラ検査、午後に外来診療を担当しています。当院では直径約5.5mmの細径内視鏡を使用しており、鼻から挿入できるため、のどを通過する際のつらさを大きく軽減できます。さらに、このカメラは最新式のため、細くても非常に鮮明な画像で検査が可能です。

丸亀市の皆さまへ質の高い診療をご提供できるよう、日々努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

総合内科

副島 佳晃

2025年10月より岡山大学医歯薬学総合研究科・総合内科学の「瀬戸内（まるがめ）総合診療医学講座」に所属し、岡浩介先生の後任として毎週火曜日に総合内科外来を担当しております、副島佳晃と申します。スタッフの皆様にとっても温かく迎えていただき、深く感謝申し上げます。普段は岡山大学病院の総合内科・総合診療科で勤務し、複雑な疾患や複数の専門領域にまたがる疾患を抱える患者様の診療に取り組んでおります。また大学院では内分泌領域をテーマとして、甲状腺や下垂体、副腎などにおけるホルモン分泌の調節メカニズムを研究し、卒業後の現在も研究を継続しています。倦怠感や発熱、食欲不振、浮腫といった一般的な症状の原因として内分泌疾患が隠れていることも少なくなく、問診や診察、検査を通して、見逃されやすい内分泌異常を含めて様々な疾患を念頭において診療を行うことができると考えております。私自身はこれまで香川県に縁が深いわけではございませんが、この度こちらでお世話になることをきっかけに、香川・丸亀地域のことを深く知り、皆様と協力させていただきながら医療の充実・発展に少しでも貢献できるように努力してまいります。今後とも何卒宜しく願い申し上げます。

循環器科

福田 能丈

今年度より火曜日午前の循環器外来を担当している福田能丈です。循環器外来では心不全、不整脈、高血圧、狭心症など、心臓と血管に関わる幅広い疾患の診療を行っています。私はこれまで岡山県内の急性期医療機関で様々な循環器疾患の治療に携わってきました。

近年、日本では高齢化に伴い心不全の患者さんが急増し、「心不全パンデミック」とも呼ばれています。「心不全」という言葉は聞いたことがあっても、実際の症状はイメージしにくいかもしれません。代表的な症状には、息切れや足・顔のむくみなどがあります。

「なんとなく動くのがしんどくなってきた」と思って受診してみると、心不全が見つかることも珍しくありません。

近年、心不全治療は大きく進歩しており、10年前とは治療選択肢も効果も大きく変わってきています。気になる症状がある方は、ぜひ一度ご相談ください。少しでも日常生活が楽になるよう、お手伝いさせていただきます。



認定看護師紹介

皮膚・排泄ケア認定看護師の取り組み

皮膚・排泄ケア認定看護師 細川 三規子

皮膚・排除ケア認定看護師として、褥瘡・創傷・ストーマ・失禁等の問題に対し、専門的な知識と技術を持って予防・治療・再発防止に取り組んでいます。当院では、長期療養に伴う変化を早期に捉え、継続した支援を行うことが大切であると考えています。褥瘡ラウンドや排泄ラウンドを通して多職種と協働し、ケアの質向上とチーム医療の推進に努めています。認定看護師を取得した20年前、患者さんから「あなたがいてくれて本当に良かった」と頂いた言葉は、今も私の原動力です。

これからも患者さんの思いに寄り添い、安心してその人らしく過ごせる療養環境を支えていきたいと思っています。



リハビリ通信

当院の回復期病棟リハビリでは、患者様が急性期治療を終えた後で、出来る限り早く日常生活へ戻れるよう、個別性に配慮したリハビリテーションを提供しています。そんな当病棟リハビリの最大の魅力は365日リハビリです。祝日や週末も途切れることなく訓練を続けるため、機能回復のチャンスを逃しません。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がチームとなり、身体機能の向上だけでなく生活動作の改善やコミュニケーション支援まで総合的にサポートします。安心してリハビリに取り組める環境づくりを大切に、在宅復帰を力強く支援します。



医師紹介

外科・内視鏡センター

金谷 信彦

このたび、まるがめ医療センターで毎週水曜日に勤務させていただくことになりました、外科の金谷信彦（かなや のぶひこ）です。午前は主に胃カメラ検査、午後は外科外来や処置を担当しています。岡山大学病院では、大腸を中心とした消化器がんやクローン病・潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患に対し、腹腔鏡やロボット支援手術といった低侵襲手術と新しいがん遺伝子細胞治療の開発研究に携わってきました。地域の皆さまが安心して相談できる身近な外科医でありたいと考えています。外科診療の中で痛感するのが、がんの早期発見の重要性です。現在の医療では、早期に見つかるほど根治の可能性が高まります。無症状でも検診を受けていただくことが、早期診断と適切な治療につながると考えています。どうぞよろしくお願いします。



外科・内視鏡センター

三宅 英輝

昨年4月より着任いたしました、外科医の三宅英輝と申します。毎週水曜日の午前は胃カメラ検査、午後は外科外来を担当しております。胃カメラでは、できる限り苦痛の少ない検査を心がけており、「思ったより楽だった」と言ってもらえるよう丁寧な操作と細やかな配慮を大切にしております。胃がんは早期発見がとても重要です。ピロリ菌に感染している場合には、除菌治療によって将来的な胃がんリスクを下げられます。ピロリ菌は、胃薬と2種類の抗生剤を1週間続けて服用することで除菌が可能です。午後の外科外来では、切創や打撲といった日常的な外傷から、交通事故による外傷まで幅広く診療しております。ケガは日々の暮らしの中で、ふとした瞬間に訪れます。その不安を少しでも和らげられるよう、安心いただける処置と、わかりやすい説明を大切にしています。地域の皆さまの健康を支えられるよう努めてまいりますので、どうぞお気軽にご相談ください。

医療安全管理について

高島 紅葉

2024年4月から、医療安全管理者として活動しております。

当院では、皆様に安心して治療をお受けいただけますように、職員の医療安全への意識向上にむけて、危険に気付くための研修や、5S活動等を実施しております。また、未然に事故を防止するために、事例の共有や、事故防止策の検討を行い、日々安全な医療環境の提供を目指して取り組んでおります。

なお、患者さんからお寄せいただくお声やお気づきの点は、私どもにとって安全な医療を守るうえで大変貴重な支えとなります。もし、気になることや、ご不安な点がございましたら、どうぞ遠慮なくスタッフへお知らせください。

さらに、安全な医療環境は、私ども職員だけでは成し得ないものであり、患者さん・ご家族と一緒に築いていくものと、考えております。例えば、患者誤認を防止するためにはご自身でお名前・生年月日を名乗ってもらう取り組みもその一つです。患者さん、職員共に安全な医療環境を構築するために、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



病棟紹介

5階

つなぐ看護

—日常生活の回復を支え、次のステージへ—

回復期リハビリテーション病棟では、急性期から在宅への「つなぐ看護」を目標に、多職種が連携して患者さんの回復を支えています。明るく優しい雰囲気の中で、安心してリハビリに取り組める環境づくりを大切にしています。今年度は集団レクリエーションにも取り組み、楽しみながら意欲的なリハビリを促しています。



チーム対抗
玉入れ大会

金メダルをかけた
ボーリング大会



年末年始でつい食べすぎてしまった! 忙しくて運動ができずに体重が増えてしまった! という方も多いと思います。健康な方にも、糖尿病や高血圧で病院に通院している方にも、この時期お勧めの野菜を紹介します。

百花(まんば)

香川県で冬～春にかけて生産が盛んな野菜に、百花(まんば)があります。郷土料理の「まんばのけんちゃん」で親しまれていますがビタミンCやカルシウムが豊富な野菜です。刻んで炒飯やおにぎりに入れてもおおいしく食べられます。



アスパラガス

2月～4月に旬のアスパラガス「さぬきのめざめ」もお勧めです。アスパラギン酸やビタミンB1が豊富で疲労回復にも効果があります。香川県オリジナルの大型のアスパラガスでサラダや天ぷらがお勧めです。



香川を代表する野菜をしっかり食べて健康な体を作りましょう。

連携室だより

連携室では、紹介患者様の診察・検査予約をはじめとし、看護師・医療ソーシャルワーカーによる入院・転院相談、地域の医療機関や施設、在宅サービス事業所、福祉行政などとの連携業務、患者様・ご家族様からの相談対応などを行っています。



今後の生活に対し不安に思われ相談に来られる方も多くいらっしゃいます。患者様・ご家族様に安心して治療に専念していただけるよう、また笑顔で生活していただけるようサポートするのが連携室の役目ですので、お気軽にお立ち寄りご相談ください。

患者様・ご家族様の安心したお顔は、私たちスタッフの元気の源です。ささいなことでもお話しください。

●患者サポート相談窓口のご案内

- 【相談時間】 9:00～18:00 (月・火・水・木・金)
9:00～12:00 (土)
- 【設置場所】 1階医療相談室(地域医療連携室内)
- 【相談方法】 来院、電話、メール、郵送など、
いずれの方法でもお受付します。
- 【電話番号】 0877-23-5555 (代表)

医 事 課 だより

マイナンバーカードなどの 限度額適用認定証としての利用について

限度額適用認定証の交付を受けるためには、今までは、事前に市町村窓口へ申請する必要がありましたが、令和3年10月から、医療機関等でのオンライン資格確認システムで適用区分の確認が出来れば、限度額認定証の提示が不要になりました。

注意 ただし、以下の方は医療機関等へ限度額適用認定証を提示する必要があります。事前に市町村窓口へ申請し、限度額適用認定証の交付を受け、医療機関等へ提示をしてください。

- 1 申請月以前12ヶ月に90日を超える長期の入院をされていて、食事療養費が減額の対象になる場合
- 2 国民健康保険料の滞納がある世帯の場合

マイナンバーカード・電子証明書の 更新手続きについて

マイナンバーカードの有効期間は、発行日から10回目の誕生日(18歳未満は5回目)まで、電子証明書の有効期間は、年齢問わず発行日から5回目の誕生日までに設定されています。有効期限の2～3ヶ月を目途に有効期限通知書が送付されますので、ご確認ください。なお、更新にかかる手数料は無料です。電子証明書の有効期間を過ぎると、マイナ保険証として使用が出来なくなりますので、更新時期が来ましたら、お早目の更新をお願いします。マイナンバーカードの更新方法で不明な点がある場合は、お住まいの市町村窓口へお尋ねください。



医療法人社団 重仁

まがめ医療センター

MARUGAME Medical Center

・ 発行者: 広報委員会

〒763-8507 香川県丸亀市津森町219番地
TEL 0877-23-5555 FAX 0877-23-6200
<https://jyujin-mmc.jp>